

【表紙】

【提出書類】 四半期報告書

【根拠条文】 金融商品取引法第24条の4の7第1項

【提出先】 関東財務局長

【提出日】 平成26年2月10日

【四半期会計期間】 第66期第3四半期(自平成25年10月1日 至平成25年12月31日)

【会社名】 綜研化学株式会社

【英訳名】 Soken Chemical & Engineering Co., Ltd.

【代表者の役職氏名】 代表取締役社長 逢坂 紀行

【本店の所在の場所】 東京都豊島区高田三丁目29番5号

【電話番号】 (03)3983 - 3171(代表)

【事務連絡者氏名】 経営管理部長 滝澤 清隆

【最寄りの連絡場所】 東京都豊島区高田三丁目29番5号

【電話番号】 (03)3983 - 3171(代表)

【事務連絡者氏名】 経営管理部長 滝澤 清隆

【縦覧に供する場所】 株式会社東京証券取引所
(東京都中央区日本橋兜町2番1号)

第一部 【企業情報】

第1 【企業の概況】

1 【主要な経営指標等の推移】

回次		第65期 第3四半期 連結累計期間	第66期 第3四半期 連結累計期間	第65期
会計期間		自 平成24年4月1日 至 平成24年12月31日	自 平成25年4月1日 至 平成25年12月31日	自 平成24年4月1日 至 平成25年3月31日
売上高	(千円)	19,005,688	19,887,930	26,434,285
経常利益	(千円)	1,310,898	1,059,442	1,566,277
四半期(当期)純利益	(千円)	880,120	638,061	967,753
四半期包括利益 又は包括利益	(千円)	882,273	1,722,422	1,651,045
純資産額	(千円)	16,928,802	19,124,438	17,691,178
総資産額	(千円)	30,093,878	32,807,067	31,778,066
1株当たり四半期 (当期)純利益金額	(円)	106.21	77.00	116.79
潜在株式調整後 1株当たり四半期 (当期)純利益金額	(円)	-	-	-
自己資本比率	(%)	54.2	55.7	53.5

回次		第65期 第3四半期 連結会計期間	第66期 第3四半期 連結会計期間
会計期間		自 平成24年10月1日 至 平成24年12月31日	自 平成25年10月1日 至 平成25年12月31日
1株当たり四半期 純利益金額	(円)	51.78	14.93

- (注) 1. 当社は四半期連結財務諸表を作成しておりますので、提出会社の主要な経営指標等の推移については記載していません。
2. 売上高には、消費税等は含まれておりません。
3. 潜在株式調整後1株当たり四半期(当期)純利益金額については、潜在株式が存在しないため記載していません。

2 【事業の内容】

当第3四半期連結累計期間において、当社グループ(当社及び当社の関係会社)が営む事業の内容について、重要な変更はありません。また、主要な関係会社に異動はありません。

第2 【事業の状況】

1 【事業等のリスク】

当第3四半期連結累計期間において、新たに発生した事業等のリスクはありません。

また、前事業年度の有価証券報告書に記載した「事業等のリスク」について重要な変更はありません。

2 【経営上の重要な契約等】

当第3四半期連結会計期間において、経営上の重要な契約等は行われておりません。

3 【財政状態、経営成績及びキャッシュ・フローの状況の分析】

(1) 業績の状況

当第3四半期連結累計期間における経済情勢は、国内では景気が緩やかな回復基調で推移したものの、海外では中国をはじめとするアジア新興国の景気が減速するなど、引き続き先行き不透明かつ厳しい状況にありました。

このような事業環境のもと、当社グループは、中国・東南アジア市場での事業拡大を推進するために、グループ間の連携を高め、販売・開発・生産体制の強化に取組むとともに、新製品の開発や新規事業の早期立上げに注力してまいりました。

ケミカルズについては、粘着剤関連製品の販売が前年同期の水準に至りませんでした。微粉体製品および中国市場における特殊機能材製品の販売が堅調に推移したことや円安の影響により、売上高は前年同期を上回りました。装置システムについては、工事完成高が増加したことにより、売上高は前年同期を上回りました。

これらの結果、当第3四半期連結累計期間の売上高は、198億87百万円（前年同期比4.6%増）となりました。利益面では、原材料価格の上昇、海外事業拠点の拡充や新規事業の強化による販売費及び一般管理費の増加等により、経常利益は10億59百万円（前年同期比19.2%減）、四半期純利益は6億38百万円（前年同期比27.5%減）となりました。

セグメントの状況は、以下のとおりです。

<ケミカルズ>

ケミカルズについては、売上高は178億10百万円（前年同期比3.9%増）となりました。製品別の状況は、以下のとおりです。

粘着剤関連製品は、両面テープ等の一般用途向けの販売は堅調に推移したものの、フラットパネル・ディスプレイ関連用途向けの販売数量が前年同期を下回り、売上高は93億65百万円（前年同期比2.3%減）となりました。

微粉体製品は、情報記録材用途、中国市場における光拡散フィルム用途向けの販売数量が増加し、売上高は18億27百万円（前年同期比14.1%増）となりました。

特殊機能材製品は、中国市場における電子材料用途向けの販売数量が増加し、売上高は27億77百万円（前年同期比19.2%増）となりました。

加工製品は、中国市場における機能性粘着テープの販売数量が減少したものの円安の影響により、売上高は38億40百万円（前年同期比5.7%増）となりました。

<装置システム>

装置システムについては、国内での設備投資に持ち直しの動きが見られ、工事完成高は前年同期を上回り、売上高は20億77百万円（前年同期比11.9%増）となりました。

(2) 財政状態の分析

当第3四半期連結会計期間末（以下「当期末」という。）の総資産は、前連結会計年度末（以下「前期末」という。）に比べて10億29百万円増加し、328億7百万円となりました。

流動資産は、受取手形及び売掛金、たな卸資産が増加したものの、現金及び預金、有価証券が減少したことなどにより、前期末に比べ3億15百万円減少し、176億21百万円となりました。

固定資産は、設備投資などにより、前期末に比べ13億44百万円増加し、151億85百万円となりました。

一方、負債については短期借入金、長期借入金が増加したものの、支払手形及び買掛金、未払法人税等、賞与引当金が減少したことなどにより、前期末に比べ4億4百万円減少し、136億82百万円となりました。

当期末における純資産は、利益剰余金、為替換算調整勘定の増加などにより、前期末に比べ14億33百万円増加し191億24百万円となりました。

これらにより、自己資本比率は前期末53.5%から2.2ポイント増加し55.7%となりました。

(3) 事業上及び財務上の対処すべき課題

当第3四半期連結累計期間において、当社グループの事業上及び財務上の対処すべき課題に重要な変更及び新たに生じた課題はありません。

(4) 研究開発活動

当第3四半期連結累計期間における研究開発費の総額は13億70百万円であります。

なお、当第3四半期連結累計期間において、当社グループの研究開発活動の状況に重要な変更はありません。

(5) 主要な設備

前連結会計年度末において計画中であった主要な設備の新設について、当第3四半期連結累計期間に著しい変更があったものは、次のとおりです。

綜研高新材料（南京）有限公司における生産設備の新設について、設備の内容を粘着剤及び特殊機能材生産設備から粘着剤生産設備に、投資予定額を17億80百万円から19億50百万円に、完了予定年月を平成25年12月から平成26年8月に変更しております。

また、綜研新材料（啓東）有限公司における生産設備の新設について、同社の解散決議に伴い、計画を中止しております。

第3 【提出会社の状況】

1 【株式等の状況】

(1) 【株式の総数等】

【株式の総数】

種類	発行可能株式総数(株)
普通株式	33,200,000
計	33,200,000

【発行済株式】

種類	第3四半期会計期間 末現在発行数(株) (平成25年12月31日)	提出日現在 発行数(株) (平成26年2月10日)	上場金融商品取引所 名又は登録認可金融 商品取引業協会名	内容
普通株式	8,300,000	8,300,000	東京証券取引所 JASDAQ (スタンダード)	完全議決権株式であり、権利内容に何ら限定のない当社における標準となる株式であります。また、単元株式数は100株であります。
計	8,300,000	8,300,000		

(2) 【新株予約権等の状況】

該当事項はありません。

(3) 【行使価額修正条項付新株予約権付社債券等の行使状況等】

該当事項はありません。

(4) 【ライツプランの内容】

該当事項はありません。

(5) 【発行済株式総数、資本金等の推移】

年月日	発行済株式 総数増減数 (株)	発行済株式 総数残高 (株)	資本金増減額 (千円)	資本金残高 (千円)	資本準備金 増減額 (千円)	資本準備金 残高 (千円)
平成25年10月1日～ 平成25年12月31日	-	8,300,000	-	3,361,563	-	3,402,809

(6) 【大株主の状況】

当四半期会計期間は第3四半期会計期間であるため、記載事項はありません。

(7) 【議決権の状況】

当第3四半期会計期間末日現在の「議決権の状況」については、株主名簿の記載内容が確認できないため、記載することができないことから、直前の基準日（平成25年9月30日）に基づく株主名簿による記載をしております。

【発行済株式】

平成25年12月31日現在

区分	株式数(株)	議決権の数(個)	内容
無議決権株式			
議決権制限株式(自己株式等)			
議決権制限株式(その他)			
完全議決権株式(自己株式等)	(自己保有株式) 普通株式 13,700		
完全議決権株式(その他)	普通株式 8,283,600	82,836	
単元未満株式	普通株式 2,700		一単元(100株)未満の株式
発行済株式総数	8,300,000		
総株主の議決権		82,836	

(注) 「単元未満株式」欄の普通株式には、当社保有の自己株式2株が含まれております。

【自己株式等】

平成25年12月31日現在

所有者の氏名 又は名称	所有者の住所	自己名義 所有株式数 (株)	他人名義 所有株式数 (株)	所有株式数 の合計 (株)	発行済株式 総数に対する 所有株式数 の割合(%)
(自己保有株式) 綜研化学株式会社	東京都豊島区 高田三丁目29番5号	13,700		13,700	0.17
計		13,700		13,700	0.17

2 【役員の状況】

該当事項はありません。

第4 【経理の状況】

1．四半期連結財務諸表の作成方法について

当社の四半期連結財務諸表は、「四半期連結財務諸表の用語、様式及び作成方法に関する規則」(平成19年内閣府令第64号)に基づいて作成しております。

2．監査証明について

当社は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、第3四半期連結会計期間(平成25年10月1日から平成25年12月31日まで)及び第3四半期連結累計期間(平成25年4月1日から平成25年12月31日まで)に係る四半期連結財務諸表について、有限責任 あずさ監査法人により四半期レビューを受けております。

1【四半期連結財務諸表】
(1)【四半期連結貸借対照表】

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成25年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成25年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	3,687,170	3,144,942
受取手形及び売掛金	⁴ 8,214,227	⁴ 8,724,470
有価証券	1,699,993	1,099,957
商品及び製品	2,721,134	2,833,972
仕掛品	29,341	113,071
原材料及び貯蔵品	937,857	1,073,992
繰延税金資産	371,458	340,542
その他	275,916	290,422
流動資産合計	17,937,099	17,621,372
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	² 11,367,906	² 11,989,166
減価償却累計額	5,177,776	5,621,511
建物及び構築物(純額)	6,190,130	6,367,654
機械装置及び運搬具	² 13,480,689	² 14,055,703
減価償却累計額	10,099,004	10,732,322
機械装置及び運搬具(純額)	3,381,685	3,323,380
土地	² 1,190,757	² 1,211,598
建設仮勘定	570,504	1,432,932
その他	² 1,545,678	² 1,708,142
減価償却累計額	1,175,934	1,298,593
その他(純額)	369,743	409,549
有形固定資産合計	11,702,821	12,745,115
無形固定資産		
その他	196,316	229,005
無形固定資産合計	196,316	229,005
投資その他の資産		
投資有価証券	709,246	811,670
関係会社出資金	372,207	427,222
繰延税金資産	477,468	459,416
その他	385,186	568,913
貸倒引当金	2,280	55,648
投資その他の資産合計	1,941,828	2,211,574
固定資産合計	13,840,967	15,185,695
資産合計	31,778,066	32,807,067

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成25年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成25年12月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	6,024,729	5,832,805
短期借入金	2,204,161	2,512,810
1年内返済予定の長期借入金	136,900	420,288
未払法人税等	597,296	1,178
賞与引当金	550,399	270,057
完成工事補償引当金	19,300	9,300
工事損失引当金	552	2,684
役員賞与引当金	48,400	24,750
その他	1,652,084	1,620,073
流動負債合計	11,233,823	10,693,946
固定負債		
長期借入金	1,273,800	1,449,707
退職給付引当金	1,300,747	1,317,985
その他	278,517	220,990
固定負債合計	2,853,065	2,988,682
負債合計	14,086,888	13,682,629
純資産の部		
株主資本		
資本金	3,361,563	3,361,563
資本剰余金	3,402,816	3,402,816
利益剰余金	9,952,616	10,300,657
自己株式	10,972	10,997
株主資本合計	16,706,023	17,054,039
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	163,843	231,519
為替換算調整勘定	126,667	988,785
その他の包括利益累計額合計	290,510	1,220,304
少数株主持分	694,643	850,094
純資産合計	17,691,178	19,124,438
負債純資産合計	31,778,066	32,807,067

(2) 【四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書】
【四半期連結損益計算書】
【第3四半期連結累計期間】

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年12月31日)
売上高	19,005,688	19,887,930
売上原価	12,814,630	13,600,726
売上総利益	6,191,058	6,287,203
販売費及び一般管理費	4,831,052	5,278,794
営業利益	1,360,005	1,008,409
営業外収益		
受取利息及び配当金	22,282	28,040
持分法による投資利益	15,996	17,450
為替差益	15,544	77,209
補助金収入	15,203	60,868
雑収入	54,142	65,551
営業外収益合計	123,170	249,121
営業外費用		
支払利息	140,581	158,463
雑損失	31,696	39,625
営業外費用合計	172,277	198,089
経常利益	1,310,898	1,059,442
特別利益		
固定資産売却益	451	-
特別利益合計	451	-
特別損失		
固定資産売却損	-	59
固定資産除却損	9,005	15,411
ゴルフ会員権評価損	2,890	-
投資有価証券評価損	1,283	-
子会社整理損	-	27,848
特別損失合計	13,179	43,319
税金等調整前四半期純利益	1,298,169	1,016,123
法人税等	376,104	336,431
少数株主損益調整前四半期純利益	922,065	679,691
少数株主利益	41,945	41,630
四半期純利益	880,120	638,061

【四半期連結包括利益計算書】
 【第3四半期連結累計期間】

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年12月31日)
少数株主損益調整前四半期純利益	922,065	679,691
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	16,966	67,676
為替換算調整勘定	14,881	914,549
持分法適用会社に対する持分相当額	7,944	60,504
その他の包括利益合計	39,791	1,042,730
四半期包括利益	882,273	1,722,422
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	844,177	1,567,855
少数株主に係る四半期包括利益	38,096	154,566

【注記事項】

(四半期連結財務諸表の作成にあたり適用した特有の会計処理)

当第3四半期連結累計期間 (自 平成25年4月1日 至 平成25年12月31日)	
税金費用の計算	当連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算する方法によっております。

(四半期連結貸借対照表関係)

1 当座貸越契約及び貸出コミットメントについて

当社は、運転資金の効率的な調達を行うため取引銀行5行と当座貸越契約及び貸出コミットメント契約を締結しております。これら契約に基づく当第3四半期連結会計期間末の借入未実行残高は次のとおりであります。

	前連結会計年度 (平成25年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成25年12月31日)
当座貸越極度額及び 貸出コミットメントの総額	2,300,000千円	2,300,000千円
借入実行残高	千円	千円
差引	2,300,000千円	2,300,000千円

2 固定資産圧縮記帳

国庫補助金等受入により取得価額から直接減額した価額の内訳

	前連結会計年度 (平成25年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成25年12月31日)
建物	53,218千円	53,218千円
機械装置	284,089千円	284,089千円
土地	33,170千円	33,170千円
その他	11,465千円	11,465千円

3 受取手形裏書譲渡高

	前連結会計年度 (平成25年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成25年12月31日)
	53,208千円	124,276千円

4 四半期連結会計期間末日満期手形の会計処理については、満期日に決済が行われたものとして処理しております。

なお、当第3四半期連結会計期間末日が金融機関の休日であったため、次の四半期連結会計期間末日満期手形を満期日に決済が行われたものとして処理しております。

	前連結会計年度 (平成25年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成25年12月31日)
受取手形	238,479千円	203,434千円

(四半期連結損益計算書関係)

子会社整理損

子会社整理損は、連結子会社である綜研新材料（啓東）有限公司の解散決議に伴う損失額であります。

(四半期連結キャッシュ・フロー計算書関係)

当第3四半期連結累計期間に係る四半期連結キャッシュ・フロー計算書は作成しておりません。なお、第3四半期連結累計期間に係る減価償却費（無形固定資産に係る償却費を含む。）は、次のとおりであります。

	前第3四半期連結累計期間 (自 平成24年4月1日 至 平成24年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 平成25年4月1日 至 平成25年12月31日)
減価償却費	1,195,691千円	1,179,960千円

(株主資本等関係)

前第3四半期連結累計期間(自 平成24年4月1日 至 平成24年12月31日)

1. 配当金支払額

決議	株式の種類	配当の原資	配当金の総額 (千円)	1株当たり 配当額(円)	基準日	効力発生日
平成24年6月26日 定時株主総会	普通株式	利益剰余金	290,023	35	平成24年3月31日	平成24年6月27日

2. 基準日が当第3四半期連結累計期間に属する配当のうち、配当の効力発生日が当第3四半期連結会計期間の末日後となるもの
 該当事項はありません。

当第3四半期連結累計期間(自 平成25年4月1日 至 平成25年12月31日)

1. 配当金支払額

決議	株式の種類	配当の原資	配当金の総額 (千円)	1株当たり 配当額(円)	基準日	効力発生日
平成25年6月26日 定時株主総会	普通株式	利益剰余金	290,021	35	平成25年3月31日	平成25年6月27日

2. 基準日が当第3四半期連結累計期間に属する配当のうち、配当の効力発生日が当第3四半期連結会計期間の末日後となるもの
 該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

前第3四半期連結累計期間(自 平成24年4月1日 至 平成24年12月31日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント			調整額 (注)1	四半期連結損益 計算書計上額 (注)2
	ケミカルズ	装置システム	計		
売上高					
外部顧客への売上高	17,150,094	1,855,594	19,005,688	-	19,005,688
セグメント間の 内部売上高又は振替高	15,810	3,744	19,555	19,555	-
計	17,165,905	1,859,338	19,025,244	19,555	19,005,688
セグメント利益又は損失()	1,321,090	16,821	1,304,269	55,736	1,360,005

(注)1. セグメント利益又は損失の調整額55,736千円は、セグメント間取引消去であります。

2. セグメント利益又は損失は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

当第3四半期連結累計期間(自 平成25年4月1日 至 平成25年12月31日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント			調整額 (注)1	四半期連結損益 計算書計上額 (注)2
	ケミカルズ	装置システム	計		
売上高					
外部顧客への売上高	17,810,623	2,077,306	19,887,930	-	19,887,930
セグメント間の 内部売上高又は振替高	15,717	136,962	152,679	152,679	-
計	17,826,341	2,214,268	20,040,609	152,679	19,887,930
セグメント利益又は損失()	1,028,914	51,056	977,857	30,552	1,008,409

(注)1. セグメント利益又は損失の調整額30,552千円は、セグメント間取引消去であります。

2. セグメント利益又は損失は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

(1株当たり情報)

1株当たり四半期純利益金額及び算定上の基礎は、以下のとおりであります。

項目	前第3四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年12月31日)
1株当たり四半期純利益金額	106円21銭	77円00銭
(算定上の基礎)		
四半期純利益金額(千円)	880,120	638,061
普通株主に帰属しない金額(千円)	-	-
普通株式に係る四半期純利益金額(千円)	880,120	638,061
普通株式の期中平均株式数(千株)	8,286	8,286

(注) 潜在株式調整後1株当たり四半期純利益金額については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。

2【その他】

該当事項はありません。

第二部 【提出会社の保証会社等の情報】

該当事項はありません。

独立監査人の四半期レビュー報告書

平成26年2月10日

綜研化学株式会社
取締役会 御中

有限責任 あずさ監査法人

指定有限責任社員
業務執行社員 公認会計士 佐々木 雅 広 印

指定有限責任社員
業務執行社員 公認会計士 栗 田 涉 印

指定有限責任社員
業務執行社員 公認会計士 伏 谷 充二郎 印

当監査法人は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、「経理の状況」に掲げられている綜研化学株式会社の平成25年4月1日から平成26年3月31日までの連結会計年度の第3四半期連結会計期間(平成25年10月1日から平成25年12月31日まで)及び第3四半期連結累計期間(平成25年4月1日から平成25年12月31日まで)に係る四半期連結財務諸表、すなわち、四半期連結貸借対照表、四半期連結損益計算書、四半期連結包括利益計算書及び注記について四半期レビューを行った。

四半期連結財務諸表に対する経営者の責任

経営者の責任は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期連結財務諸表の作成基準に準拠して四半期連結財務諸表を作成し適正に表示することにある。これには、不正又は誤謬による重要な虚偽表示のない四半期連結財務諸表を作成し適正に表示するために経営者が必要と判断した内部統制を整備及び運用することが含まれる。

監査人の責任

当監査法人の責任は、当監査法人が実施した四半期レビューに基づいて、独立の立場から四半期連結財務諸表に対する結論を表明することにある。当監査法人は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期レビューの基準に準拠して四半期レビューを行った。

四半期レビューにおいては、主として経営者、財務及び会計に関する事項に責任を有する者等に対して実施される質問、分析的手続その他の四半期レビュー手続が実施される。四半期レビュー手続は、我が国において一般に公正妥当と認められる監査の基準に準拠して実施される年度の財務諸表の監査に比べて限定された手続である。

当監査法人は、結論の表明の基礎となる証拠を入手したと判断している。

監査人の結論

当監査法人が実施した四半期レビューにおいて、上記の四半期連結財務諸表が、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期連結財務諸表の作成基準に準拠して、綜研化学株式会社及び連結子会社の平成25年12月31日現在の財政状態及び同日をもって終了する第3四半期連結累計期間の経営成績を適正に表示していないと信じさせる事項がすべての重要な点において認められなかった。

利害関係

会社と当監査法人又は業務執行社員との間には、公認会計士法の規定により記載すべき利害関係はない。

以 上

- (注) 1. 上記は、四半期レビュー報告書の原本に記載された事項を電子化したものであり、その原本は当社(四半期報告書提出会社)が別途保管しております。
2. 四半期連結財務諸表の範囲にはXBRLデータ自体は含まれていません。